



LIGHT ボアアップ KIT 145cc カム付き/カム無し

商品コード：	(ブラック/カム付)	212-1452050
	(ブラック/カム無)	212-1452051
	(シルバー/カム付)	212-1452060
	(シルバー/カム無)	212-1452061

適合車種：グロム (2BJ) FNO,JC92-1000001~1099999
 ※グロム (FNO,JC92-1100001~ 8BJ-JC92 モデル) はI-MAP の設定が無い為使用不可

代表車種を記載しています。最新の適合情報についてはウェブサイトをご参照ください。適合は国内仕様車のみとなります。



当製品単品では使用できません。
 別売りのインジェクションコントローラー(i-Map)を必ず使用してください。
 また、その他のマフラーやオイルクーラーKIT などの推奨パーツも必ずご確認ください。



カムシャフト無しのボアアップ KIT は、既にカムシャフトを購入いただいているお客様向けの商品です。
 カムシャフトの同時装着を推奨します。

推奨エンジンオイル： LIQUI MOLY MOTORBIKE 4T SYNTH 10W-50 STREET RACE
 elf MOTO4 PRO TECH 5W-40

- この度はキタコ製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。取り付ける前に注意事項をお読みいただき、ご理解の上でご使用ください。
- 製品内容を必ずご確認ください。
- ホンダが発行するサービスマニュアルと併せて作業を行ってください。
- このキットの組み付けには特殊工具が必要です。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項 (必ずお読み下さい)



- このパーツは競技用部品であり、保証の対象外となります。
- 組み込まれた車両での一般公道走行はできません。
- 記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 出力アップに伴いノーマル状態からバランスが崩れ、各部の耐久性などが低下する可能性があります。通常よりも頻繁な点検整備が必要になります。
- 出力アップに伴いノーマル車両のような静音性や耐久性は損なわれます。
- 組み付けミスやセッティング不良による事故やパーツの破損については、保証の対象外となります。
- 指示に従って正しく組み付けてください。記載以外の改造は破損や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 本製品の使用によって生じた付随的な損害、間接的な損害、および逸失利益などについては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周辺部品の役割などが理解できない場合は、必ず専門店の担当者または当社にご相談ください。



- 燃料は無鉛プレミアムガソリンを使用してください。高圧縮比のため、レギュラーガソリンではノッキングなどでエンジンが損傷します。
- 車両のコンディションや組み合わせパーツによっては、インジェクションコントローラー (i-Map) のプリセット燃調マップでは対応できない場合があります。その場合は必ず燃調セッティングを行ってください。
- 慣らし運転を必ず行ってください。ただし、慣らし運転中でもセッティング不良の場合はエンジンが損傷する恐れがあります。
- 出力特性が変わるため、状況に応じてオイルクーラーの取り付けやクラッチの強化などの追加作業が必要になります。
- 再使用する部品に損傷や摩耗がある場合は、新品に交換してください。
- 組み付ける部品は、洗浄を行ってください。
- オイルラインに詰まりがないか、エアダスターなどを使用して必ず確認してください。
- 製品にはエッジや突起がありますので、取り扱い時には手袋を着用し、怪我に注意してください。
- 仕様変更などにより、説明書の内容 (イラストや写真) と異なる場合があります。
- 製品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



取扱説明書は専門的な知識を持った方を対象としています。技能や知識がない方、説明書の内容が理解できない方は作業を行わないでください。



十分な換気を行ってください。ガソリンは揮発性が高く身体に有害です。エンジンの始動は換気の良い場所で行ってください。



作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用するため、タバコなどの火気は厳禁です。



エンジンが作動中または作動後、シリンダーやクランクケース、マフラーなどが高温になっていますので、不用意に触れないようにしてください。



スパークチェックのために、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は絶対に行わないでください。引火や爆発の危険があります。



お気付きの点や異常を発見した場合は、直ちに走行を停止し、当社までご連絡ください。

製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良が生じた場合は、同様の数量の新しい製品と交換、または無償修理をいたします。ただし、それに伴う故障、破損、事故などの損害、およびパーツ代金や整備費用の代償はご容赦ください。

取り付け手順

- 外装の取り外しやその他の作業が必要です。脱着作業はサービスマニュアルに従って行ってください。
- 分解した部品は洗浄してください。
- 取り付けの際は必ず締め付けトルクを確認してください。
- イラスト（写真）は純正とは異なる場合があります。
- 取扱説明書の内容はグロム（2BJ-JC92）がベースとなっています。他の車種の場合作業内容が異なる場合があります。

取り外し

⚠ 作業を行う前にはエンジンおよびエキゾーストパイプ/マフラーなどが十分に冷えていることを確認してください。高温部品に触れると火傷の恐れがあります。

- ドレンボルトを取り外し、エンジンオイルを排出します。

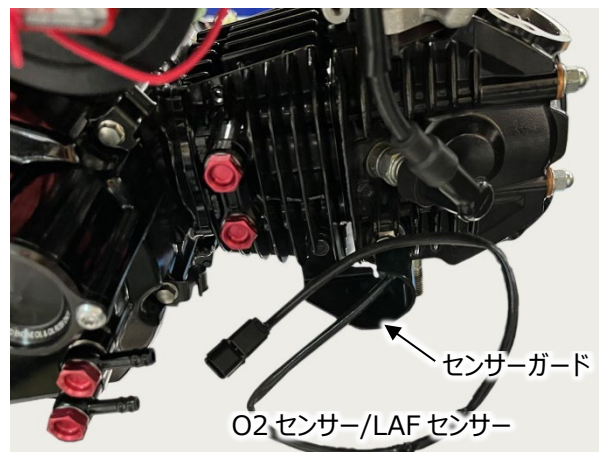


- エキゾーストパイプ/マフラーを取り外します。

⚠ 十分に冷えた状態で作業を行っています。エキゾーストパイプ/マフラーに油分などの汚れが付着した状態でエンジンを始動すると焼けむらが発生します。



- O2 センサー/センサーガード/プラグキャップなどを取り外します。

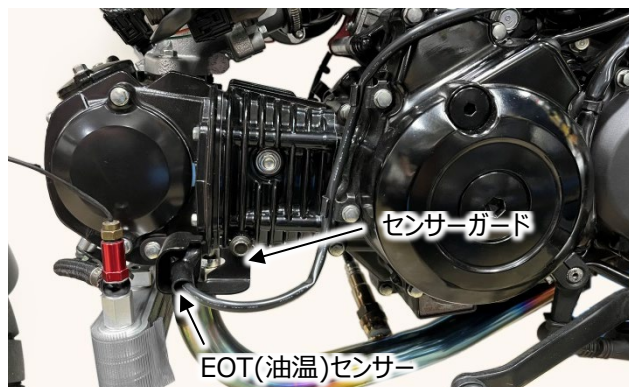


ここを押すとコネクタを外すことができます。

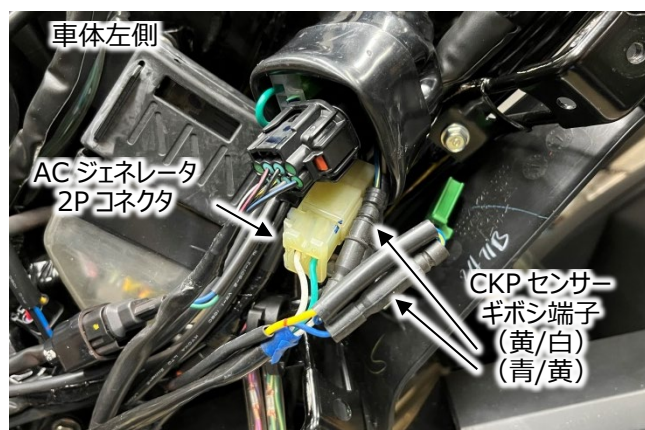


取り外し

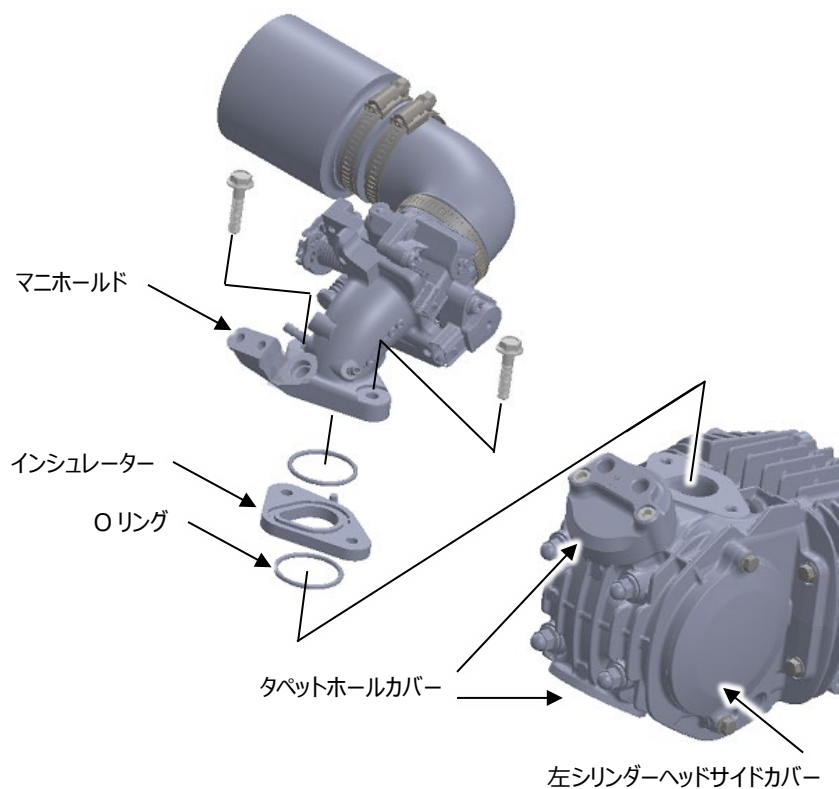
- EOT(油温)センサー/センサーガードを取り外します。



- AC ジェネレータ 2P コネクタ/CKP センサーギボシ端子を取り外します。



- スロットルボディ/マニホールド/インシュレーターなどを取り外します。
- タペットホールカバー (IN/EX) /左シリンダーヘッドサイドカバーを取り外します。

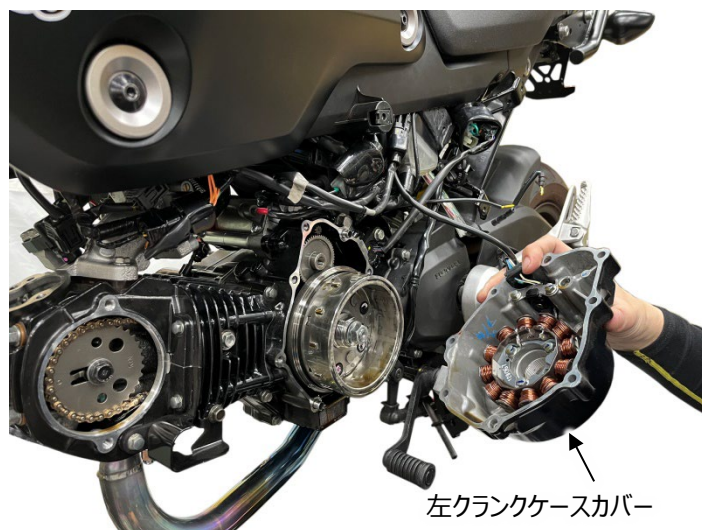


取り外し

- 左クランクケースカバーを取り外します。
- ガasketとロックピンを取り外します。

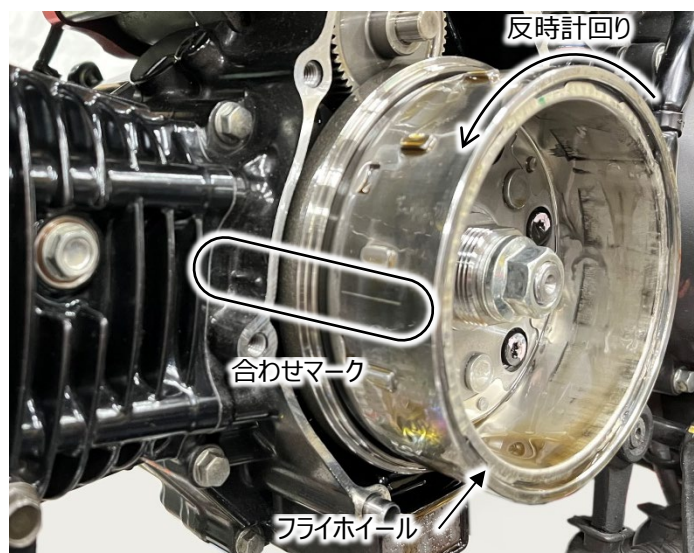
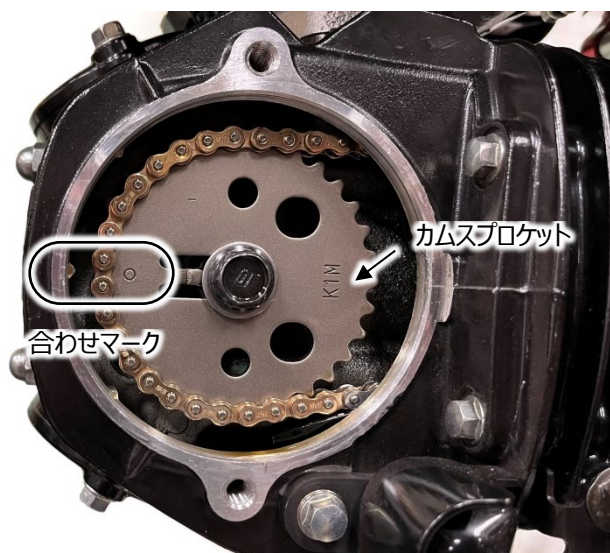
⚠️ ロックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。

⚠️ ボルトは対角線上に2~3回に分けて緩めます。

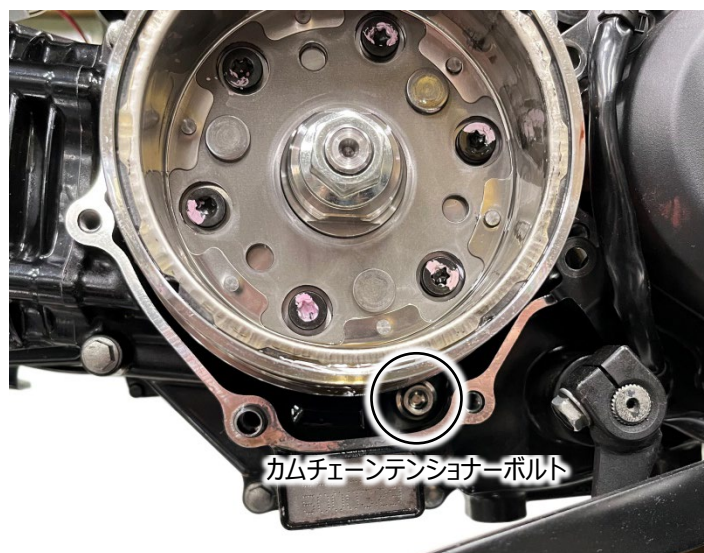


- クランクシャフトを反時計回りに回転させ、フライホイールの合わせマークを左クランクケースの突起に合わせます。
- カムプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの突起を合わせて、ピストンを圧縮上死点に合わせます。

i カムプロケットの合わせマークが合っていない場合は、クランクシャフト（フライホイール）を回転させて再度合わせてください。

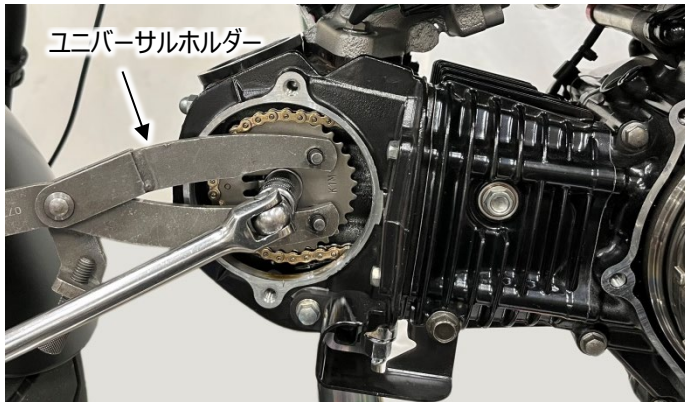


- カムチェーンテンショナーボルトを取り外し、テンショナーの張りを緩めます。



取り外し

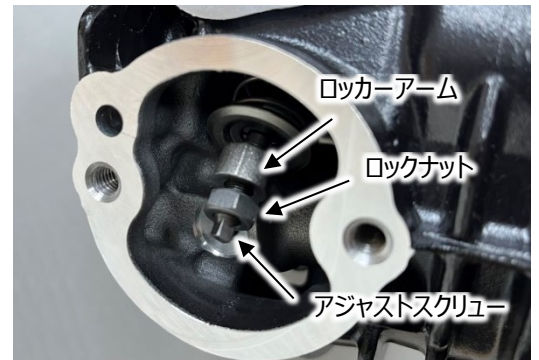
- ユニバーサルホルダーを使用してカムスプロケットを固定します。フランジボルトとワッシャーを外し、カムシャフトからカムスプロケットを取り外し、次にカムスプロケットからカムチェーンを外します。



⚠ カムチェーン/ボルト/ワッシャーがクランクケース内に落ちないように注意してください。

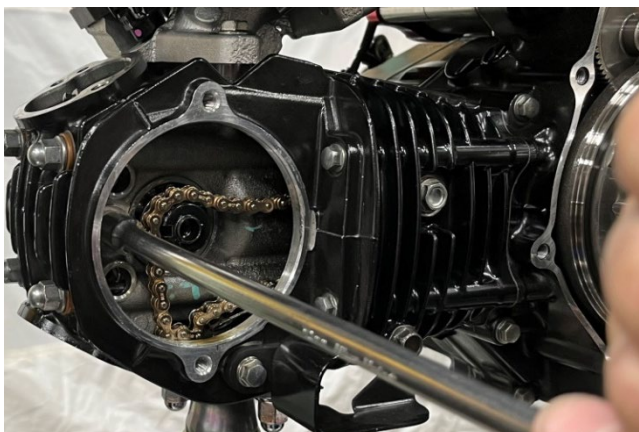
- IN・EX ロッカーアームのアジャストスクリューロックナットを緩め、スクリューを左に回してクリアランスを広げます。

i アジャストスクリューを緩めることで、ロッカーアームを取り外さずにカムシャフトの交換が可能です。



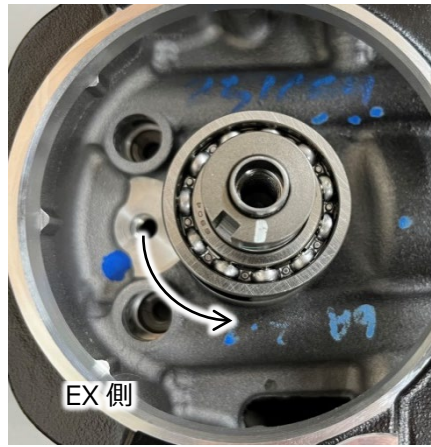
- ボルトワッシャーを取り外します。

⚠ ボルトがシリンダーヘッドの開口部に落ちないように注意してください。



取り外し

- カムシャフトを取り外します。カムシャフトキー溝を IN 側に 45°回転させて引き抜き、次に EX 側に 45°回転させて引き抜きます。カム山にロッカーアームが引っかからないように押さえておきます。取り付けは逆の手順で行います。



シリンダーヘッドの加工誤差などの個体差により、ベアリングの動きが滑らかでない場合は、ボルトワッシャーとヘッドの間にシム（付属品）を使用してください。

- ガイドローラーピンボルトを緩めます。



内部のガイドローラーが脱落しないようにするため、ボルトは取り外さずにそのままにしておいてください。



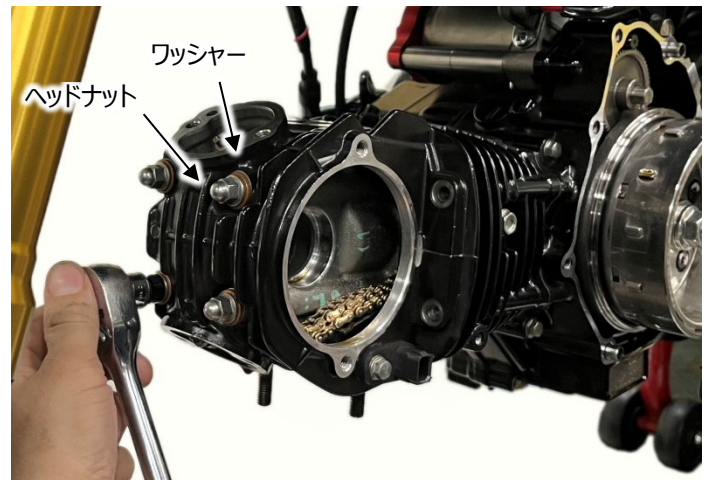
- シリンダーフランジボルト 6x95 を取り外します。



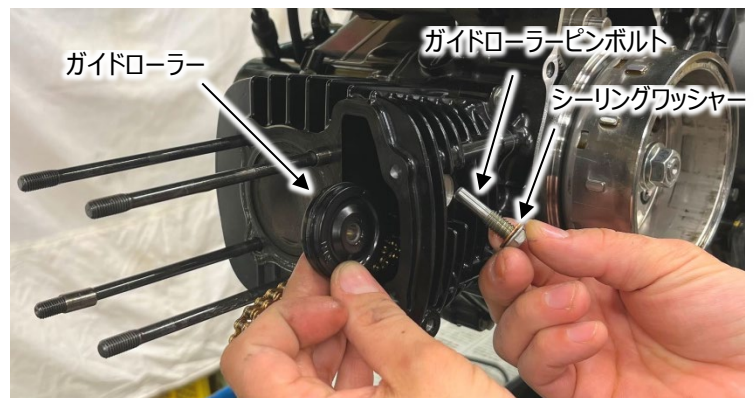
取り外し

- シリンダーヘッドナット/ワッシャーを取り外します。
- シリンダーヘッドを取り外します。

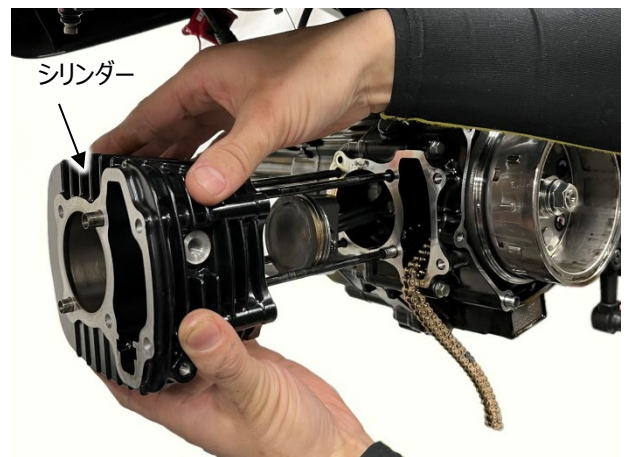
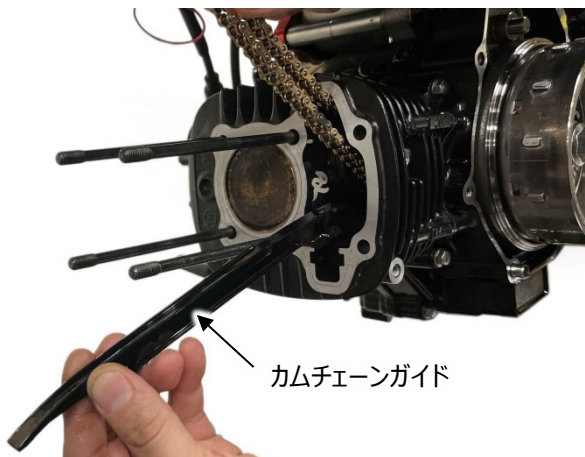
⚠ ナットは対角線上に2~3回に分けて緩めます。



- ガイドローラー/ガイドローラーピンボルト/シーリングワッシャーを取り外します。



- カムチェーンガイド/シリンダーを取り外します。



- ピストンピンクリップを取り外します。
- ピストンピン/ピストンを取り外します。

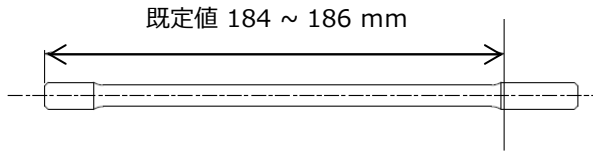
⚠ ピストンピンクリップがクランクケース内に入らないようにするため、クランクケースの開口部をウエスなどで覆って作業してください。

⚠ ピストンピンクリップは常に新品を使用してください。使用済みのピストンピンクリップを再度取り付けたら、エンジンに深刻な損傷が生じる可能性があります。

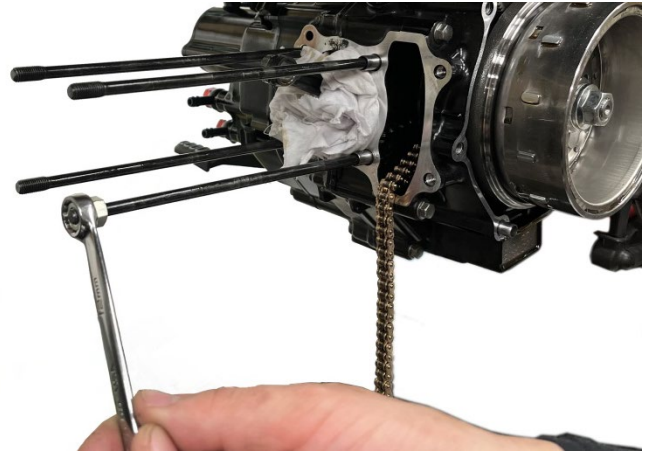


シリンダースタッドボルト

- 付属の M7 ナットをダブルナットで使用し、シリンダースタッドボルトを増し締めします。



シリンダースタッドボルト
締め付けトルク：7.5 N・m

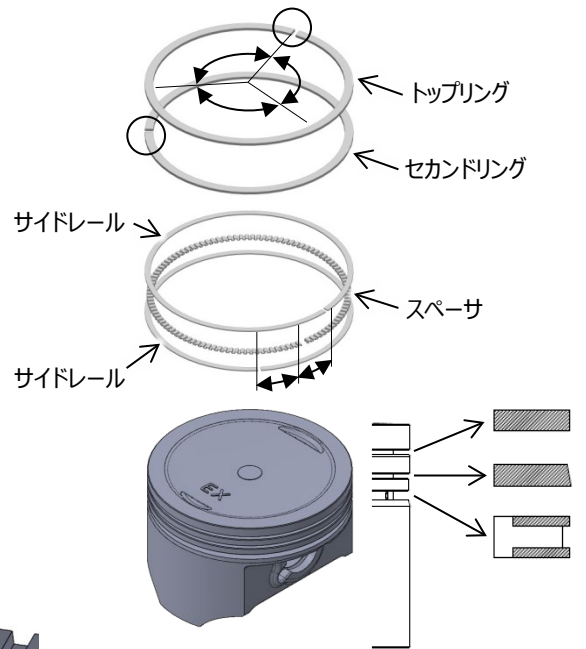


ピストンの取り付け

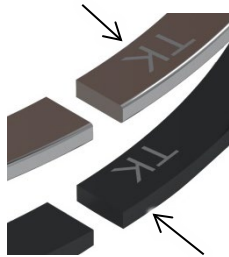
- リングおよびリング溝にエンジンオイルを塗布してください。
- リング溝をよく清掃し、ピストンリングを取り付けます。
- ピストンピンクリップを溝に正しくセットしてください。

ピストンリングの刻印を上にしてピストンリングの溝に慎重に取り付けます。
トップリングとセカンドリングを混同しないでください。

- ⚠️ ピストンリングの端のギャップを互い違いに 120° 離して配置します。
図のように、サイドレールの端のギャップをずらして配置します。
スペーサは合口が上方向に配置します。

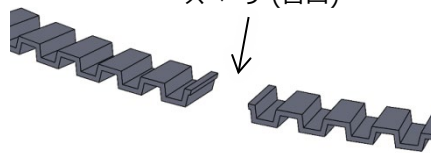


トップリング (グレー/シルバー)

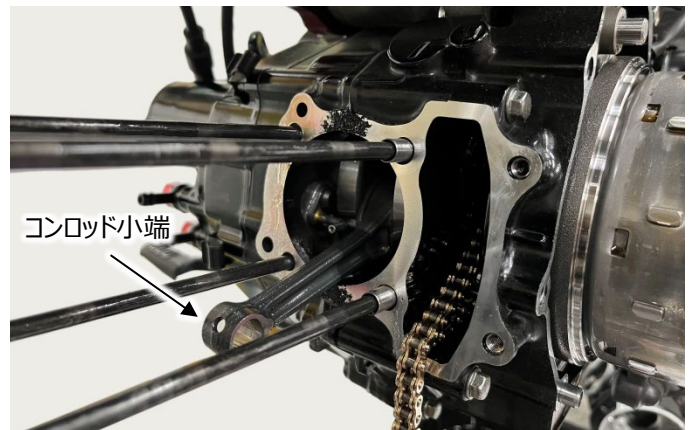
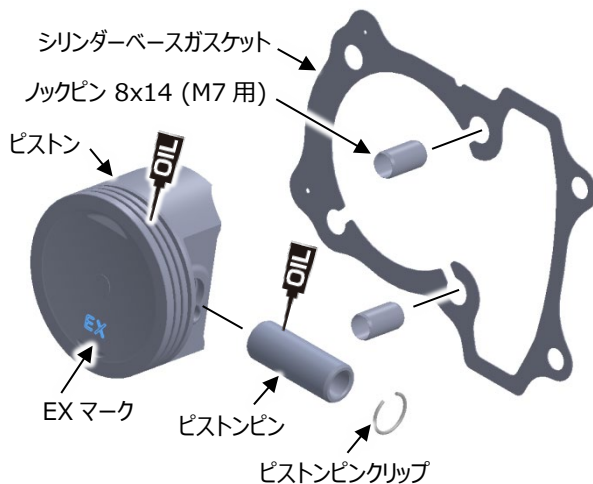


セカンドリング (ブラック)

スペーサ (合口)



- コンロッド小端穴にエンジンオイルを塗布してください。
- ピストンピンにエンジンオイルを塗布します。
- ピストンは「EX」マークが排気側になるように取り付けてください。



ピストンの取り付け

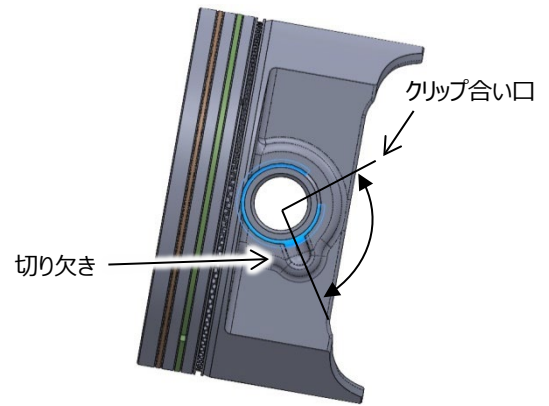
- ピストンピンクリップを溝に正しくセットしてください。
- クリップの合い口隙間とピストンの切り欠きの位置を合わせないでください。



ピストンピンクリップがクランクケース内に入らないようにするため、クランクケースの開口部をウエスなどで覆って作業してください。



ピストンピンクリップは常に新品を使用してください。使用済みのピストンピンクリップを再度取り付けると、エンジンに深刻な損傷が生じる可能性があります。



シリンダーの取り付け

- カムシャフトやロッカーアームの潤滑油はシリンダー内のオイルラインを通して供給されます。シリンダーを取り付ける前にオイルラインを洗浄してください。
- 図のように、クランクケースの斜線部分に液状ガスケットを塗布します。

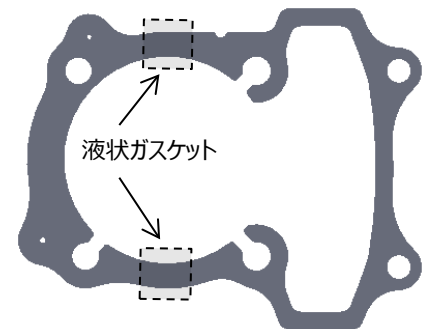
シリンダー壁やピストンを傷つけないように注意してください。

合わせ面を傷つけないように注意してください。

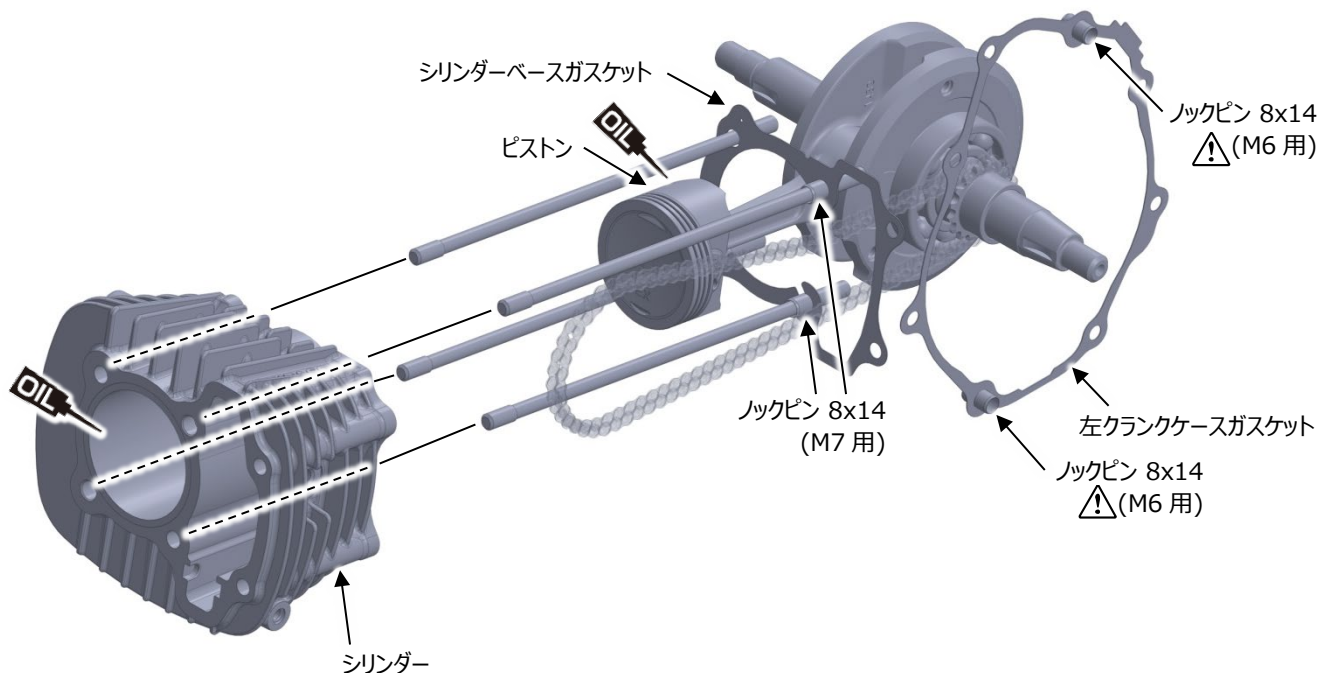


取り付け時のピストンリングの損傷を避けてください。

カムチェーンがクランクケース内に落ちないように注意してください。



- ナックピン 8x14 (M7 用) とシリンダーベースガスケットを取り付けます。
- シリンダーおよびピストン摺動面にエンジンオイルを塗布してください。
- ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
- ピストンリングを指で押しながらシリンダーをピストンに取り付けます。



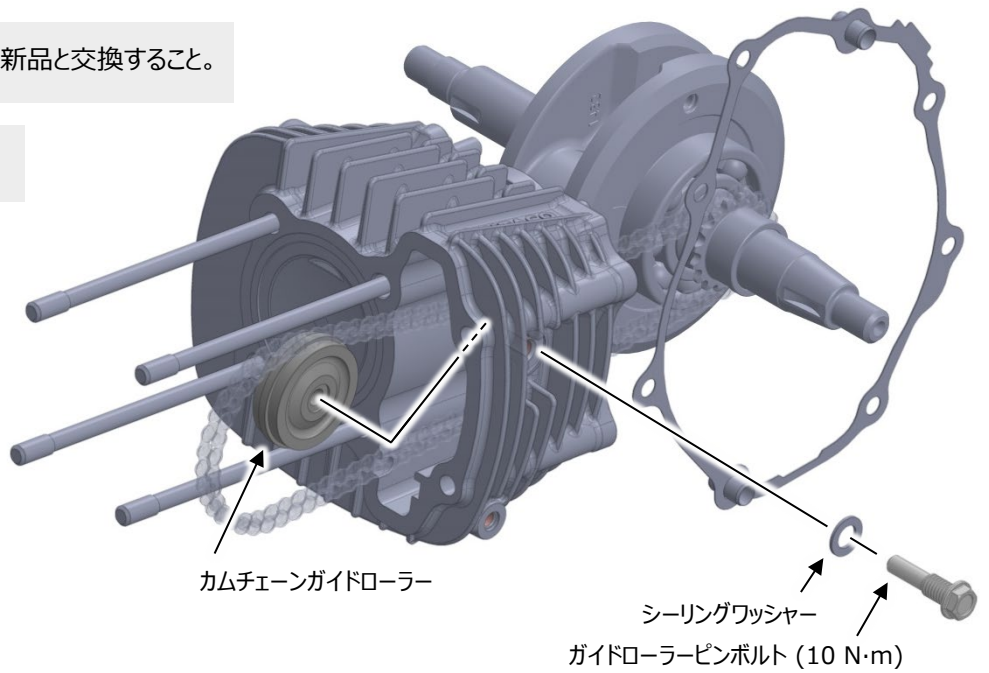
シリンダーの取り付け

- カムチェーンガイドローラー、新品のシーリングワッシャー、カムチェーンガイドローラーピンボルトを取り付けます。
- ローラーピンボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ ガイドローラーに損傷がある場合は新品と交換すること。

📄 ガイドローラーピンボルト
締め付けトルク：10 N・m

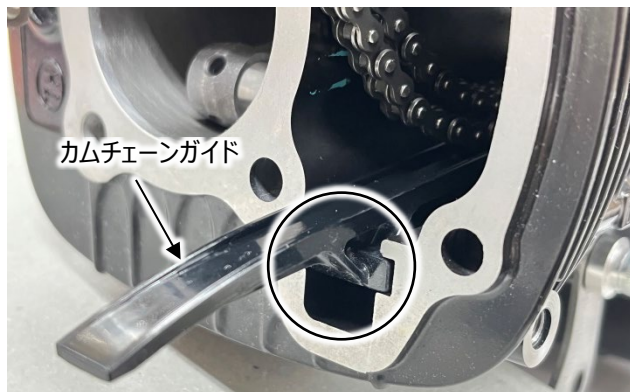
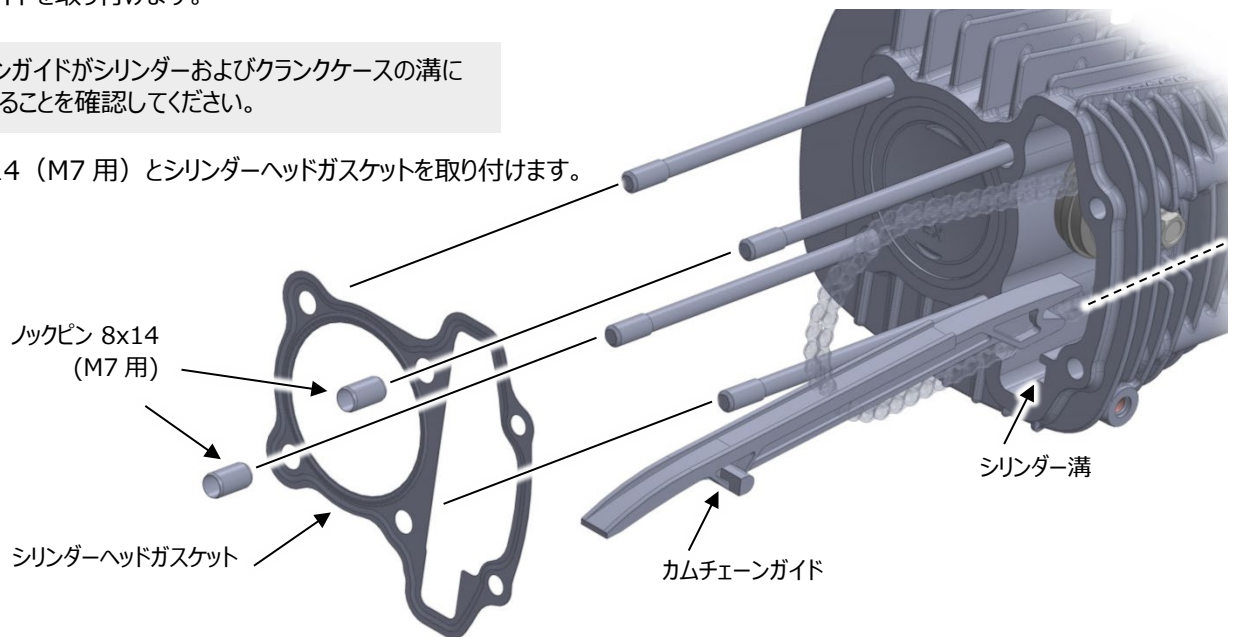
品名： シーリングワッシャー
商品コード： 70-090-14321



- カムチェーンガイドを取り付けます。

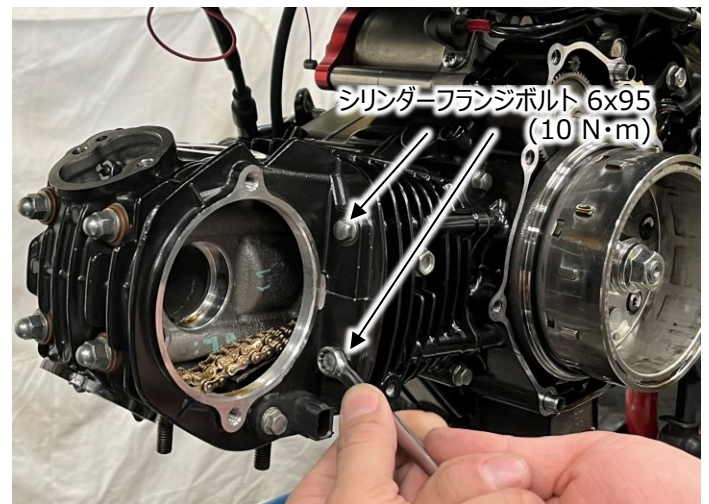
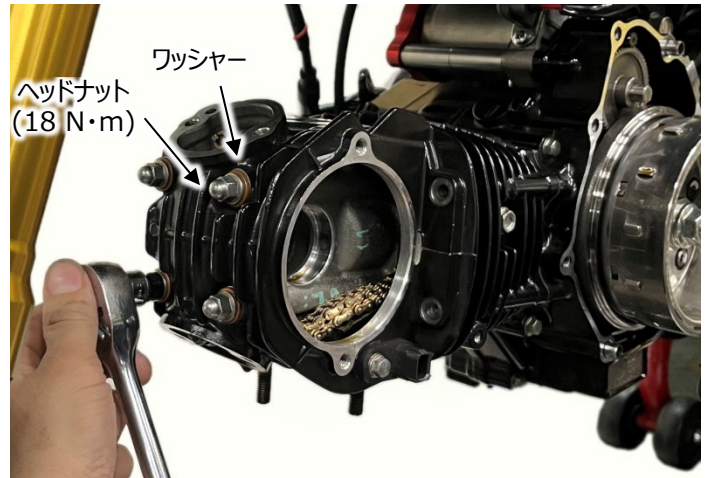
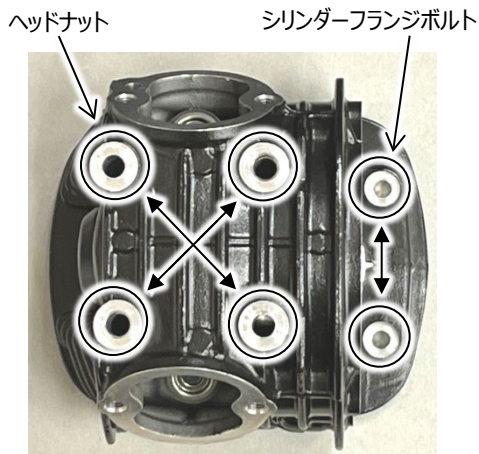
⚠ カムチェーンガイドがシリンダーおよびクランクケースの溝に
収まっていることを確認してください。

- ノックピン 8x14 (M7 用) とシリンダーヘッドガスケットを取り付けます。



シリンダーヘッドの取り付け

- カムチェーンをシリンダーヘッド内を通し、シリンダーヘッドを取り付けます。
- ヘッドナットのネジ部にエンジンオイルを塗布してください。
- ワッシャーを取り付け、ヘッドナットを対角線上に2～3回に分けて規定トルクで締め付けます。
- 次にシリンダーフランジボルトを締め付けます。



ヘッドナット
締め付けトルク : 18 N・m

シリンダーフランジボルト 6x95
締め付けトルク : 10 N・m

カムシャフトの取り付け

- カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付けます。
- カムシャフトベアリングにエンジンオイルを塗布してください。
- ロッカーアームシャフト摺動面にエンジンオイルを塗布してください。

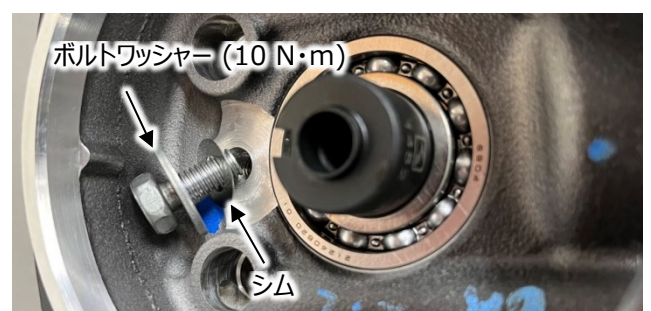
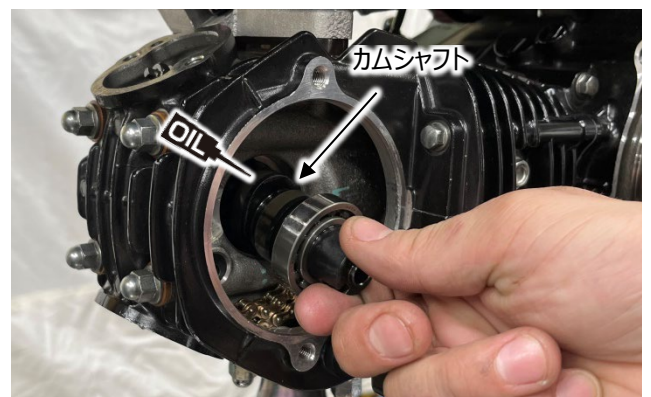
i 取り付けはカムシャフトの取り外し手順と逆の手順で行ってください。

- ボルトワッシャーを取り付け、規定トルクで締め付けます。

! シリンダーヘッドの加工誤差などの個体差により、ベアリングの動きが滑らかでない場合は、ボルトワッシャーとヘッドの間にシム（付属品）を使用してください。

! ボルトワッシャー/シムがシリンダーヘッドの開口部に落ちないように注意してください。

ボルトワッシャー
締め付けトルク : 10 N・m

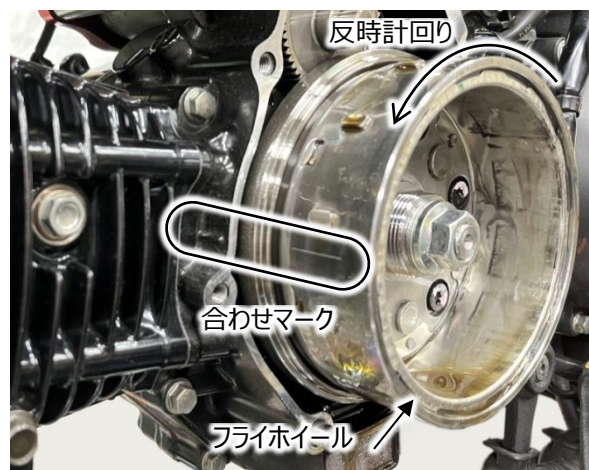


カムプロケットの取り付け/バルブタイミング

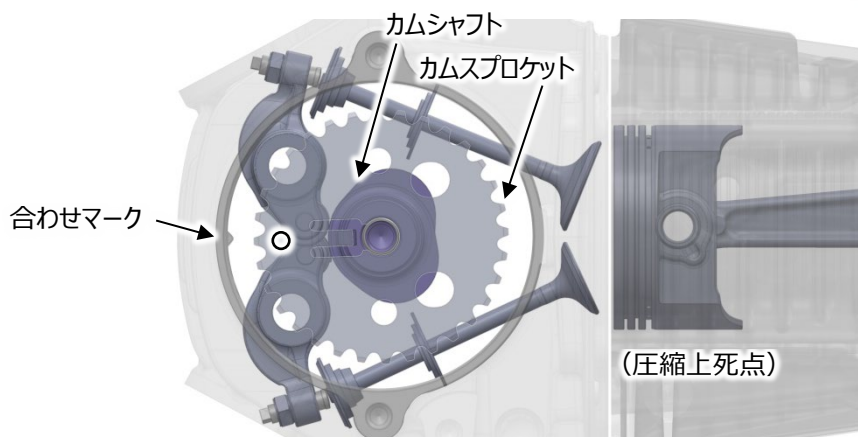
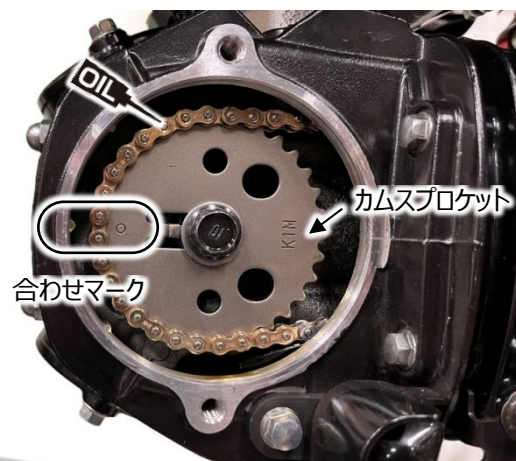
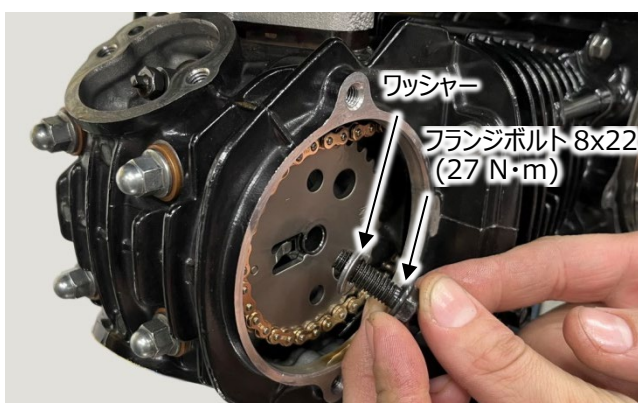
- クランクシャフトを反時計回りに回転させ、フライホイールの合わせマークを左クランクケースの突起に合わせます。
(圧縮上死点の状態)

i カムプロケットの合わせマークが合っていない場合は、クランクシャフト（フライホイール）を回転させて再度合わせてください。

! クランクシャフトを回転させる際、カムチェーンがタイミングスプロケットやクランクシャフトに噛み込まないように注意してください。

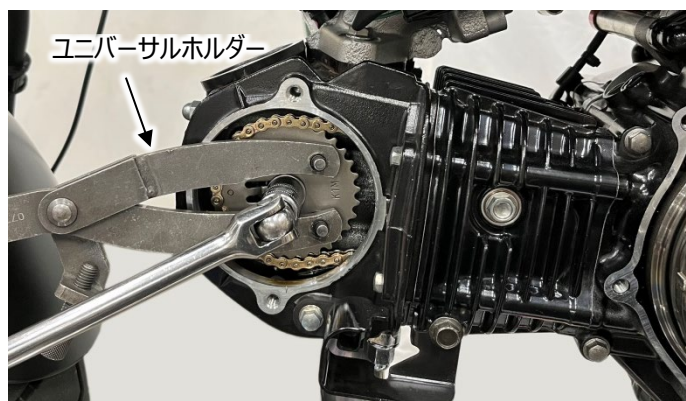


- カムプロケット 32T にカムチェーンをセットします。
- カムチェーンとカムプロケットの歯にエンジンオイルを塗布してください。
- 圧縮上死点の状態でカムプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの突起を合わせます。



- ユニバーサルホルダーを使用してカムプロケットを固定します。ワッシャーとフランジボルトを取り付け、規定のトルクで締め付けます。

! フランジボルト 8x22
締め付けトルク：27 N・m



カムチェーンテンショナー

- プッシュロッドにエンジンオイルを最低 4.0cc 注入します。
カムチェーンテンショナーボルトを取り付けて締め付けます。

⚠ 必ずカムチェーンの張りを確認すること。
プッシュロッドのワンウェイバルブが機能しているか確認すること。

📄 カムチェーンテンショナーボルト
締め付けトルク：10 N・m



カムシャフト

- アジャストスクリューとバルブの間にシクネスゲージを挿入してバルブクリアランスを確認します。

⚠ バルブクリアランスの点検と調整は、エンジンが冷えている状態（35°C 以下）で行ってください。

バルブクリアランス：

IN：0.08 ±0.02mm

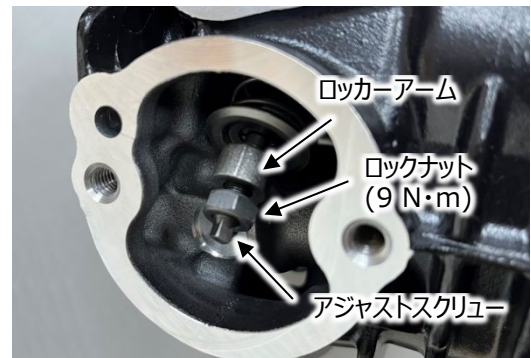
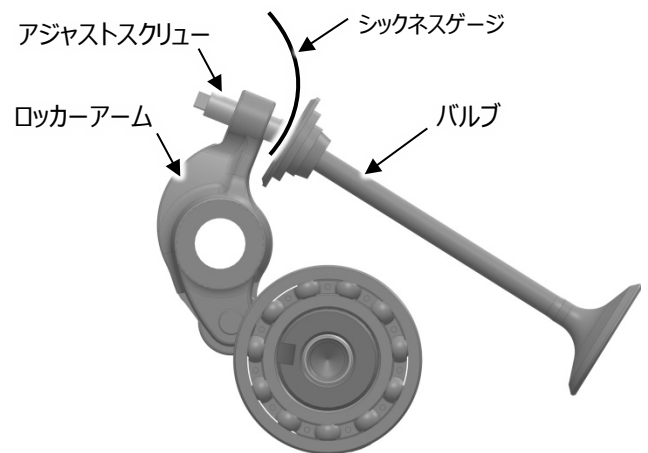
EX：0.20 ±0.02mm

バルブタイミング（1mm リフト時設計値）

IN	OPEN	16° BTDC
	CLOSE	35° ABDC

EX	OPEN	44° BBDC
	CLOSE	5° ATDC

📄 アジャストスクリューロックナット
締め付けトルク：9 N・m



📄 ノーマルカムシャフトからデコンプ部品を移植できる設計になっていますが、組み換え時にベアリングのアウトレースに負荷を掛け引き抜く構造上、組み換えは保証の対象外となります。

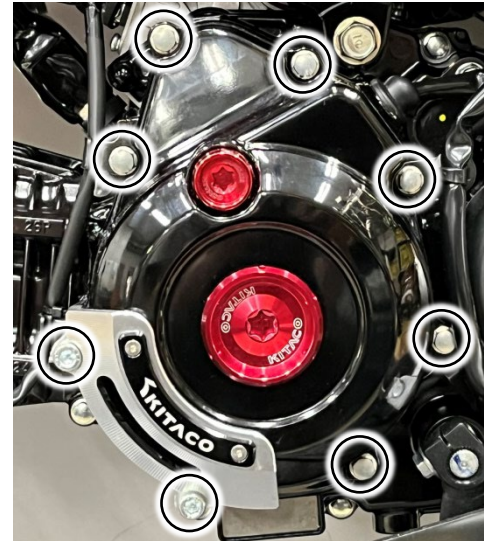
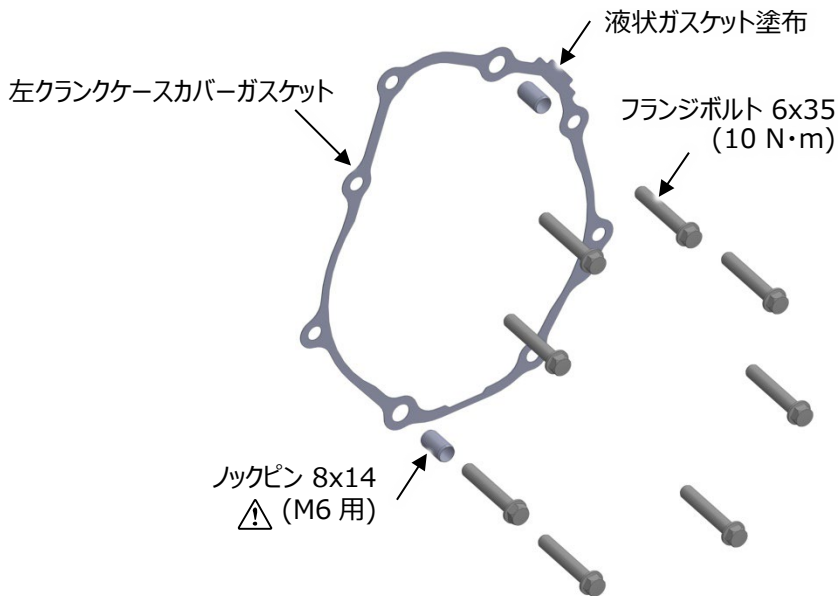
デコンプ部品



左クランクケースカバーの取り付け

- ヲックピンと左クランクケースカバーガスケットを取り付けます。
- ワイヤグロメット部分に液状ガスケットを塗布します。
- 左クランクケースカバーを取り付け、ボルトを対角線上に 2～3 回に分けて締め付けます。

📄 フランジボルト 6x35
締め付けトルク：10 N・m



その他部品の取り付け

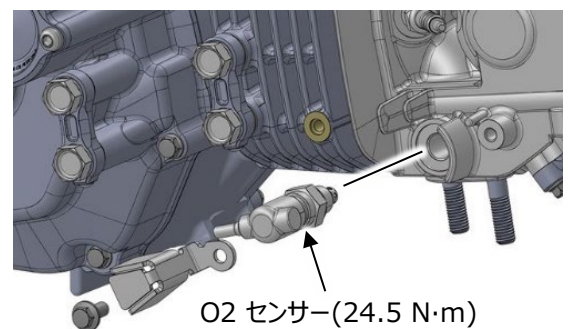
- 左シリンダーヘッドサイドカバー/タペットホールカバー (IN/EX) を取り付けます。
- スロットルボディ/マニホールド/インシュレーターなどを取り付けます。

📄 取り外し手順を参考に逆の手順で取り付けてください。

センサーの取り付け

- O2 センサーをシリンダーヘッドに取り付けます。
規定トルクで締め付けます。

📄 O2 センサー
締め付けトルク：24.5 N・m



点火プラグ

- 点火プラグをシリンダーヘッドに取り付けて手で締め、次に規定トルクで点火プラグを締めます。

⚠️ シリンダーヘッドの損傷を防ぐため、レンチを使用して
規定のトルクで締め付ける前に、まず手で締めてください。

オイルライン

i ユニオンニップルを使用することで、オイルクーラーのオイルライン取り出しにも利用できます。

☰ ユニオンボルト
締め付けトルク : 15 N・m

オプションパーツ

品名 : ユニオンニップル

ブラック 1pcs: 0900-990-90030

ブルー 1pcs: 0900-990-90010

